

6. 草木公民館（草木）

（１）概要

7月14日（火）

町側出席者 13名

地区側出席者 18名

（２）町政報告

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館を参照）

（３）要望・提言など

- ①：草木地区の主要道路、西尾知多線及び草木金沢線の朝夕の渋滞が甚だしい。本年度になって、デンソーウェーブの進出などにより、さらに渋滞が増した。将来を見据えた阿久比町としての交通対策を検討、実施していただきたい。【草木】

答：草木金沢線については、一部歩道設置がされていないため、県に引き続き要望している。農免道路の急カーブの解消を図るということで、デンソーからのバイパス工事について、本年度から4年間の予定で工事を実施する。草木岩滑線については土地区画整理事業、土地改良事業にあわせて道路整備を進めていきたいと考えている。

- ②草木地内の昭和橋を拡幅し、また草木金沢線を拡幅し、白沢八幡線に結んでいただきたい。【草木】

答：生活道路については、下水道、水道工事に伴う舗装、復旧工事等を進めているが、ご要望の昭和橋の拡幅については、現在のところは考えていないが白沢八幡線との関連について今後検討が必要かと思う。

- ③：草木岩滑線の構想を阿久比西部線の構想に改め、早期に実現していただきたい【草木】

答：草木岩滑線については、現在、その名称変更については考えていない。

- ④：高齢者に対しタクシーチケット制度があり、一部の人には利用されているが、多くの人は利用していないと思われる。利用しやすく、環境への配慮からも、コミュニティバスの導入を検討してほしい。【草木】

答：循環バスの運行については、平成13年度と平成14年度の2カ年にわたり、循環バス運行検討委員会を設けて検討し、循環バスを実施するにはやはり多額な費用がかかることから高齢者タクシー料金助成事業に力を入れてきた。しかし、今後ますます高齢化人口の進む中、タクシー券助成については、やはり何らかの基準を設ける必要が出てくるため費用対効果など今後バランスを見ながら循環バス運行も検討していきたいと考える。

関連質問：タクシーチケットの利用率はどうなっているのか。

答：昨年の実績では対象者の約42%（1,525人）から申請があり、延べ利用回数について

は、およそ 19,000 回でしたので、1 人当たり 12.4 回程度使用していると考えられる。

関連質問：タクシーチケットの申し込み方法は

答：年齢が 70 歳になられた方については身分証を持参頂ければ、年 1 回即日お渡ししている。初めて申請する方は、身分証を作成するため写真 1 枚を持参ください。

⑤：新庁舎の建設時に合わせて、総合的な駐車場計画を検討、実施していただきたい。具体的には、役場南の矢高横川線から阿久比神社までを公共施設用地及び駐車場としてご検討いただきたい。【草木】

答：庁舎、駐車場を含めた総合的な建設計画を次の第 5 次総合計画の中で、住民の皆さんの多くのご意見を伺いながら検討していく。

⑥：名鉄阿久比駅周辺は一日中混雑し、交通事故の発生しやすい状況にある。緩和に向け、東西両方向からの乗り入れ可能な阿久比駅構想を検討、実施していただきたい。【草木】

答：名鉄阿久比駅前については、平成 12 年に町施行の土地区画整理事業により整備が完了した。第 5 次総合計画の中でまた調査検討していきたいと考えている。

関連質問：阿久比駅の東側の人が東側から出入りができれば、半田街道の渋滞が解消できるのでは。

答：阿久比川と線路のところへ道を、橋をつけて東の人たちが東口から入れるようなことができるのかどうかというのは、研究していきたいと思う。

関連質問：阿久比駅東側の開発人口はどのくらいを見込んでいるのか。それによって東口の開発の必要性もあるのでは。また、駐車場の整備も必要では。

答：名鉄の区画整理事業の当初計画では約 900 戸の計画で進めている。5 年間で少なくとも 200 戸、最終的には 400 戸近く販売される予定である。

⑦：死亡届など役場の窓口対応が他自治体と比較して遅いのでは。

答：システムや確認の問題かと思われるが主管課に確認する。

提言：町民から総合計画の基本理念をどうしていこうかという部分をお聞きいただくのはありがたい。しかし、町当局が、10 年先をどういうふうに見据えて、どういう施策を持っていくかという根本理念を持たない限り、問題が解決されないまま平成 32 年を迎えてしまうのでは。

⑧：外部の人に、もっと阿久比町を知ってもらえるような、また阿久比町に住みたくなるような施策が必要ではないか。

答：第 5 次総合計画は、阿久比町の魅力を生かした、だれもが住みたくなるようなまちづくりの計画を策定していきたいと考えている。また、あわせて、豊かな自然に恵まれた

阿久比町のPRについても、情報発信に今後とも努めていきたいと思っている。

要望：電車等で阿久比を通る方、それから中央道なんかで阿久比を通してインターでおりて一回休む、そういう阿久比に関連する方がかなりみえると思うが、そういう方々にも阿久比はいいな、一回住んでみたいな、そう思われるようなPRを十分考えていっていただきたい。

⑨：阿久比インターの決定経緯は

答：インターができたのは昭和45年度でその当時、知多半島道路が全線開通したと思う。都市計画道路7路線というものは、昭和41年にこの阿久比町の衣浦西部都市計画区域として7路線が決定されているので、その当時からまず県道の名古屋半田線のバイパスとして、都市計画道のバイパスが位置づけられた。それから、知多中央道がもう一つのバイパスとして位置づけられて知多半島道路ができたものですから、昭和40年代前半に構想ができてからと思う。

⑩：下水道工事後の道路の仮復旧状態が非常に悪いので工事業者に指導してほしい。

答：下水の工事に関しての道路復旧工事、これは工事の中に仮復旧まで入れてあり、現在行っている本復旧工事は夏、8月には全域終わると思う。工事の仮復旧については多くの方からご指摘をいただきまして、業者にもきつく指導はしている。

⑪：学校教育の場に外国人教師の採用をお願いしたい。

答：英語教育の関連で、小学校、中学校にALTという形で、小学校1名、中学校1名を採用して、講師として指導してもらっている。また、ポルトガル語とかスペイン語、スペイン語に対応できる日本人教師を県で採用して、各市町に派遣をしている。

⑫：10年後の農業従事者の年齢構成を考えて農業振興策を考えるべき。また、休耕田対策を進めるべき。

答：休耕田や遊休農地の解消については難しい問題であり、特に市街化の問題、ここ最近の生産調整の厳しさの問題などがある。また、担い手が非常に少ない地域もあるので農業委員と連携しながら、町としてもなかなか難しい点があるので、いろんな方の意見を聞きながら、今後この第5次の総合計画においても、何らかの形で示していきたいと考えている。

⑬：町で毎年1回ずつ水質検査を実施していると聞いているが、今年の結果はどうなっているのか。

答：区長に結果を送るようにする。

⑭：吸着マットに油が付着しているので、油の流出を止めてほしい。また、切子が農免道路に広がっていることがある。

答：県の環境と話をして指導していく。その油が流出しているということであれば対応する。